

能登地震被災地 支援活動を報告

仙台・東北福祉大生ら

能登半島地震の被災地で東北福祉大の学生有志が取り組んだボランティア支援を振り返る展示会が11日、仙台市青葉区のエスパル仙台本館で開かれる。13日まで。

学生22人が昨年5～9月、4班に分かれ、がれき撤去や家具の搬出、被災者の心のケアに当たった。活動の様子や被災地で感じた思いなどを16枚のポスターにまとめた。

展示会開催に向けてポスターを
掲示する学生



11日午前10時から報告会が、宮城野区の東北福祉大仙台駅東口キャンパスである。学生を受け入れた石川県志賀、穴水両町とオンラインを介したパネルディスカッションもある。
展示会は午前10時～午後5時。報告会、展示会とも入場無料。